

# iichiko総合文化センター・大分県立美術館 こどもたちへ～芸術文化の学校連携～

## iichiko総合文化センター

iichiko総合文化センターでは、地域の皆さんのもとへ芸術の持つ楽しみや喜びをお届けするアウトリーチ事業を行っています。この『しあわせアート♡物語』事業を通じて、私たちと皆さんで芸術文化の素晴らしさを共感できる、しあわせな時間を紡いでいきたいという思いを込めています。



### 『しあわせアート♡物語 ～おでかけクラシックコンサート～』は、

大分県内各地の学校や施設などに音楽家を派遣する取り組みです。「子どもたちに本物の音楽を聴かせたい」という学校の先生方、「日ごろ本格的なクラシック音楽に触れる機会が少ないので演奏に来てほしい」という地域の方々にご活用いただいています。皆さんのもとへ演奏に出かけるのは、このプログラムに必要なスキルと条件を満たし、オーディションで選ばれた大分ゆかりの音楽家たち。県内外で活躍中の若手音楽家たちが、実践のための研修やリハーサルを重ね、丁寧に本番に向けた準備をして、皆さんのために上質な音楽を奏でます。

### 7/12(金)中津市立下郷小学校

梅雨の晴れ間での開催となった会場は、中津市耶馬溪町にある下郷小学校。クラリネット奏者の倉堀翔さんとピアニストによるコンサートには、全校生徒40名と、近くの津民小学校の生徒5名の総勢45名が参加しました。1曲目は、サン＝サーンスの組曲『動物の謝肉祭』より『森の奥に住むカッコウ』で、音楽室の外から倉堀さんが、カッコウの鳴き声のようにクラリネットを吹きながら登場。続いて楽器の名前当てクイズのあと、シュライナー作曲『だんだん小さく』に合わせ、クラリネットの管体を分解しながら演奏する姿はまるでマジシャンのようで、子どもたちは興味津々の様子でした。



パーツの説明の後、選ばれた4人の子どもたちが魔法使いに扮し、魔法をかけて一つずつ管体を組み立てながら「クラリネット作っちゃった」を演奏しました。全員で行う楽器体験では、左手だけで弾く「チューリップ」を練習し、その後数名の子どもや先生が、倉堀さんが吹くクラリネットに「左手だけ」参加し、演奏体験をしました。自分の経験を踏まえ、「何でもいから好きなものを見つけてください」というメッセージを贈った倉堀さん。最後はモーツァルト作曲『クラリネット協奏曲より 第2楽章』をしとりと聴かせました。演奏後子どもたちからは、「クラリネットの低音がすごくよかった」「思ったより優しい音色で、演奏が難しそう」など感想が述べられました。



ARTIST SHOU KURAHORI



### アーティスト紹介 倉堀翔さん(クラリネット)

2年前から参加しているという倉堀さんは、普段は大分市の大分中学校・高等学校で音楽の非常勤講師を務める傍ら、音楽活動を行っています。12歳の時に出会ったクラリネットに一目ぼれし、以降クラリネット一筋。「名前は知っているけど、音は聴いたことがないマイナーな楽器であるクラリネットを知ってほしい」と、親しみやすい曲からクラシックまで、幅広い構成を心掛けているそう。普段教壇に立つだけあって、分かりやすくユーモラスなトークも魅力的でした。



## 大分県立美術館

大分県芸術文化スポーツ振興財団では、学校や地域、関係機関と連携しながら美術館を教育に活用する取り組みを、国の助成などにより進めています。今回は、大分県立美術館が県内各地で行っているアウトリーチ事業と、教育委員会との連携による教員研修についてご紹介します。

### アウトリーチ [ 姫島小・中学校 ]



より多く子どもたちに美術館の楽しさを体感してもらいたいという思いから、大分県内の園や学校に美術館スタッフが出かけていき、様々なプログラムを行っています。

7月には、姫島村の姫島小学校と姫島中学校で2日間のワークショップを実施しました。

小学校1～3年生は、身体と感覚を使う体感型ワークショップ「ぼわんぼわん」を実施。ビニール袋に空気を入れて、風船のように飛ばして遊んだり、クッションのように顔をうずめたりしました。最後は巨大なビニール袋をふくらませて、みんなで持って体育館を走りまわります。ビニールという身近な素材を使って、身体全体で空気を感じました。



詳細は大分県立美術館教育普及グループ Facebookをご覧ください!  
<https://www.facebook.com/OPAMeduction>



小学校4～6年生は、イカ墨を使って墨絵体験をしました。まずは、地元の「大分県漁業協同組合姫島支店」に提供していただいたイカの墨袋から墨を取り出すところから始めます。そしてその墨を使って、マーブリング(墨流し)の技法で水面に流れる墨の模様を写し取ったり、描きたい海の生き物の写真などを見ながら墨絵を描いたりしました。

中学生は、全校生徒一人ひとりが考えた「姫島の素敵なもの」をイカ墨で描きました。墨1色ですが、濃淡やぼかし、かすれなど、墨の特性を生かした個性的な表現がたくさん見られました。

ふるさとの材料でふるさとの魅力を描き、楽しい作品作りができました。



### 教員研修 幼稚園新規採用教員研修

大分県立美術館では、子どもたちの感性や獨創性、郷土の美術文化に親しむ心を育てるため、独自のプログラムで、学校の先生向けの研修講座を開催しています。

7月2日は、大分県教育委員会の主催で、今年度幼稚園に新規採用された先生向けの研修が行われました。午前中の講義の後、午後の部の「美術館を活用した研修」では、身近な素材を使って感性を刺激する体感型ワークショップと、美術館のコレクション展の鑑賞体験を行いました。

豊かな感性と表現をはぐむためには、先生が子どもたちと一緒に美術体験を楽しむ、様々なことを感じながら教育活動を作り上げることが大切です。これからも、多くの学校・先生に美術館を活用してもらおう活動を推進していきます。



### 招待事業

iichiko総合文化センターではオーケストラコンサートやバレエの公演に小学生を無料招待しています。今年度は1,207名も応募いただき終了しました。誠にありがとうございました。

### 今後のラインナップ

2019年9月29日(日)…スポーツと音楽 オーケストラコンサート～九州交響楽団演奏会～  
2020年2月 9日(日)…首藤康之演出・振付 バレエ「眠れる森の美女」